

S02 P1114

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—17576

⑮ Int. Cl.³
G 11 B 27/02

識別記号

厅内整理番号
6507—5D

⑯ 公開 昭和58年(1983)2月1日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 6 頁)

⑯ オーディオおよびビデオテープ・カートリッジ作成装置

⑰ 特 願 昭57—117610

⑱ 出 願 昭57(1982)7月6日

優先権主張 ⑯ 1981年7月13日 ⑯ イタリア
(I T) ⑯ 22891A/81

⑰ 発明者 ベラルド・マツサーリ
イタリア国ミラノ・ロツザーノ
・グラムスシ76

⑰ 出願人 ゲラルド・マツサーリ
イタリア国ミラノ・ロツザーノ
・グラムスシ76

⑰ 代理人 弁理士 飯田伸行

明細書

1 発明の名称

オーディオおよびビデオテープ・カートリッジ作成装置

2 特許請求の範囲

1. オーディオおよびビデオテープ・カートリッジ、または同等物を作成する装置において、該装置は、

磁気メモリまたは同等の手段によつて記録されるオーディオカセットの作品の中央メモリストアと、

パンチカード読取装置または同等の手段を備えたコンピュータと、

周辺メモリまたは同等の手段に接続され、オーディオテープ・カートリッジに記録する装置とを含み、

前記コンピュータはパンチカードにパンチされた命令に従つて1つまたはそれ以上の音楽作品を中央メモリ装置からサーチし、これらの作品を記録ユニットの周辺メモリに送出

し、つぎに記録ユニットはパンチカードに指示された作品に対応する作品をカートリッジに含まれるオーディオテープにパンチカードと同じ順序で記録し、該パンチカードまたは同等の手段はオーディオテープ・カートリッジの製造者が利用者から受けた指示に従つて製造者によつて準備され、これによつて個人用オーディオテープ・カートリッジを自動的に作成することができ、利用者が選択した作品を利用者の好みの順序に従つてテープに記録することができることを特徴とするオーディオおよびビデオテープ・カートリッジ作成装置。

2. 特許請求の範囲 第1項記載の装置において、前記製造者は利用者にカタログまたは同様のリストを供給し、これには、製造者が提供できるさまざまな作品の題目、これらの作品を実施するたとえば歌手、オーケストラ、音楽家、俳優、講演者、および一般に演奏者などの名前、各題目ごとの特定のコード番号、テ

一 プ全体の再生時間および各作品ごとの再生時間が表示され、これによつて利用者は单一のテープに記録したい音楽作品をカタログから選択することができ、コード番号を表示することによつてその選択を製造者に知らせ、製造者はバンチカードまたは同等の手段を準備することができ、これによつてコンピュータを操作し、コンピュータは自動的に記録装置を動作させることを特徴とするオーディオおよびビデオテープ・カートリッジ作成装置。

3. 特許請求の範囲第1項記載の装置において、該装置は、

一般にビデオテープ・カートリッジ用の多数のテレビジョンフィルムショウ、リサイタル、フィルムおよび番組を記録した中央メモリストアと、

バンチカード読取装置または同等の手段を備えたコンピュータと、

周辺メモリまたは同等の手段に接続され、ビデオテープ・カートリッジに記録する装置

とを含み、

前記コンピュータはバンチカードにバンチされた命令に従つてビデオテープ・カートリッジ用の1つまたはそれ以上の作品を中央メモリストアからサーチし、これらの作品を記録ユニットにおける周辺メモリに転送し、つぎに記録ユニットはテープ・カートリッジに含まれるビデオテープにバンチカードで指示された作品に対応するものを該バンチカードにおける順序で記録し、このバンチカードまたは同等の手段は利用者からビデオテープ・カートリッジの製造者に与えられた指示に従つて製造者によつて準備され、これによつて個人用ビデオテープ・カートリッジを自動的に作成することができ、利用者が選択した作品を利用者の好みの順序に従つてテープに記録することができることを特徴とするオーディオおよびビデオテープ・カートリッジ作成装置。

4. 特許請求の範囲第1項記載の装置において、

前記製造者は利用者にカタログまたは同様のリストを提供し、これは製造者が利用できるビデオテープの作品の題目、そのような作品の出演者および製作者、すなわち俳優、ディレクタ、歌手、オーケストラ、著者およびその他の者、各題目ごとの特定の番号、テープ全体の再生時間、ならびに各作品ごとの再生時間を与え、これによつて利用者は单一のビデオテープに記録したい作品を該カタログから選択することができ、コード番号を示すことによつてその選択を製造者に伝え、製造者はバンチカードまたは同等の手段を準備することができ、これによつてコンピュータを操作し、コンピュータは自動的に記録装置を動作させることを特徴とするオーディオおよびビデオテープ・カートリッジ作成装置。

5. 発明の詳細な説明

本発明は「個人用」のオーディオ・テープカートリッジおよびビデオ・テープカートリッジを作成する装置に関するものであり、これらの

テープには利用者が選択した作品を記録することである。

たとえば、歌、メロディ、ルボルタジユ、シヨウ、リサイタル、ドキュメンタリ、教育材料、フィルムやテレビジョンショウから収録したもの、一般に視聴が好まれるすべてのものなどのさまざまな作品を再生することができるオーディオおよびビデオテープ・カートリッジがよく知られている。

使用者はしばしば、市販されている作品以外のものを好むことがあり、とくに必要のない作品もともに買わなければならないオーディオまたはビデオテープ・カートリッジに記録されたもののうちから1つまたはそれ以上を必要とすることがある。一方メーカは明らかに、すべての人々を満足させるほどの作品を備えたテープ・カートリッジを販売することはできず、そのようにすれば記録スペースが不足し、価格が非常に高くなる。本発明はこの問題を解決するとともに、以下に説明するように多くの他の利点

を有する。

本発明は、オーディオおよびビデオテープ・カートリッジ、またはそれと均等な手段に購入者が選択した作品を記録することができる、すなわち「個人用」テープ・カートリッジを作成することができるシステムを構成する。購入者は、テープ・カートリッジを製造販売する組織によつて定期的に刊行されたカタログから作品を選択する。

このカタログは、利用できる音楽およびビデオの作品の題名、これらを実行するもの（一般に、歌手、オーケストラ、俳優、語り手、講演者、演奏者）の名前、各項目ごとのコード番号、テープ再生時間、および各作品ごとの再生時間などを与える。利用者によつて選択された作品をテープ・カートリッジに記録する装置は、中央メモリストア、パンチカード読取装置を備えたコンピュータ、および記録装置自体を有する。

コンピュータはトランジットメモリ・ユニット、論理演算ユニット、ワーキングメモリ・ユ

ニットを構成するもの、および制御操作装置を有する。中央メモリストアは、1組の磁気テープリール、またはそれと均等なものによつて動作し、コンピュータに含まれるすべての作品がそのコードに従つてこれらに記録され、すべてのデータは記録を制御するのに使用される。

記録装置は、オーディオまたはビデオテープ・カートリッジに記録する1組のボックスプレートを有し、それぞれは周辺メモリに接続されている。

利用者は1つのテープ・カートリッジに記録したい作品を当然それぞれの演奏時間とともに選択し、手紙または他のなんらかの手段によつてそのコード番号をメーカーに知らせ、メーカーはこれによつて利用者のパンチカードを作成する。

パンチカードを作成すると、メーカーはこれをカード読取装置に入れる。コンピュータはこの情報に基づいて制御ユニットによつて制御されるトランジットメモリにこれを送り、制御ユニットは論理演算装置およびワーキングメモリに

よつて中央メモリストアの中の必要な作品をサーチする。

そこでコンピュータはこれらの作品を周辺メモリに送り、このメモリは記録装置に接続されている。そこでパンチカードを通して送られた要求に基づいてこれらの作品がテープ・カートリッジに記録される。

パンチカードがカード読取装置に挿入されたときから、全体のプロセスは完全自動であり、各段階においてコンピュータによつて取り扱われる。

本発明の特徴および目的は添付図面を参照した以下の説明によつてさらに明確になる。

第1図は個人用オーディオテープ・カートリッジ10に記録する1組の装置を示し、第2図は本装置の電気的接続を示す。

キヤビネット11はコンピュータ12と、パンチカード14の読取装置13を有する（第4図も参照）。コンピュータ本体12は、トランジット・メモリユニット16と、論理演算ユニ

ット17と、ワーキング・メモリユニット18と、動作制御装置19とを有する。1組の表示素子20によつて、さまざまな動作状態を外部に表示することができる。カード読取装置は2つの部分21および22を有し、それぞれ入力カード14'および出力カード14''を保持する。

読み取りは手動操作セレクタボタン23および24によつて制御される。キヤビネット25はデータストア26を有する。

このキヤビネットは1組の磁気テープリール27を有する。手動操作装置28が外側に配置され、1組の表示素子29で動作状態を示す。キヤビネット30はオーディオテープ・カートリッジ10に記録する一連のボックスプレート31を有し、各カートリッジは周辺メモリを構成する回路32に接続されている。

各ボックスの上部表面31はカートリッジを挿入する凹部33、記録制御用表示器34、操作用押ボタン35、およびテープ・カートリッジを出し入れするための押ボタン36が設けら

れている。

これら3つのキャビネットは互いにケーブル38、39および40によつて接続されている。

第5図は前述のものと同様な装置の構成を示すが、この場合はキャビネット30'がビデオ用テープ・カートリッジ42に記録するためのボックスプレート41を有し、周辺メモリの回路に接続されている。

ボックスプレート41の上部表面にはつぎのものが設けられている。すなわち、カートリッジを保持する凹部43、操作用押ボタン45、およびカートリッジを出し入れするための押ボタン46である。この上に記録を制御するモニタ44があり、使用者のコードを示す表示器47がある。カタログ48はメーカーが準備した曲目を与えるもので、使用者が利用できるものであるが(第3図)、つぎの3つの部分に分かれている。すなわち、「曲目」49、「歌手」50および「オーケストラ」51である。各セクションはさらに3つの欄に分かれ、各曲目ごとに

題名および歌手52、コード番号53、ならびに演奏時間54(何分何秒)が表示されている。テープ10の記録時間、および各曲ごとの時間がわかつてゐるので、使用者はこれをもとに選択することができ、オーディオテープ・カートリッジ10が含まなければならない曲数を決定することができ、そのうち好みの記録およびコード番号を各曲ごとにテープ単位で表示するようメーカーに要求することができる。

この要求を受けると、メーカーはコンピュータに挿入するカードにパンチを行なう。

カードの第1行は顧客の注文を識別するコード番号55をパンチするのに使用され、それ以下の行は要求された曲のコード53をパンチするのに使用される。

カード読取装置13はカード14から詳細なデータを取り出し、これらをトランジット・メモリ16に送る。メモリ16は制御装置19によつて制御され、これは他の2つのユニット、すなわち論理演算ユニット17およびワーキング

メモリ18によつてデータストア26の中の要求された曲をサーチする。

これらのコード53に基づいて、カタログ48に表示されたすべての曲目は、これらの記録を制御するすべてのデータとともにこのストアでテープに記録される。

1つのオーディオテープ・カートリッジ10を構成する各曲の群が周辺メモリ32、32'などの動作が制御される。

各記録ボックスプレート31の表示器37には顧客の注文コード番号55が表示される。したがつてこのプロセスは完全に自動であり、すべての段階はコンピュータ12によつて制御される。手動で行なわなければならないものはこれらの入力装置にカード14を挿入することと、オーディオテープ・カートリッジ10を交換することである。

ビデオテープ・カートリッジ42に記録する装置は上に説明したのと同じ原理で動作する。明らかにこの場合、データストアおよびカタロ

グの内容は、リサイタル、フィルム、テレビジョン番組などのビデオ用作品、および一般にビデオテープ・カートリッジに記録されたものからなる。

同様にしてコンピュータはオーディオテープ・カートリッジの代りにビデオテープ・カートリッジに記録されたものを制御するパラメータを有する。

したがつて本発明の利点は明らかである。実際に生ずることは、メーカー側で推定的に製造および販売する形と利用者の好みを満足させる形との間に完全な一致が生ずることである。

実際上、利用者側には何らの経済的な負担をかけることなく、利用者の好みにしたがつて記録することができ、したがつて所望の順序で選択した曲目を聞くことができる。

本発明の応用を例として説明したが、これに限定されるものではない。したがつて、ここで説明した本発明の概念や本発明の特徴にしたがつて実施したどんな製品などの均等な置換も、

本発明の保護の範囲に含まれることは明らかである。

27…磁気テープ

4. 図面の簡単な説明

第1図は個人用のオーディオテープ・カートリッジを記録する装置を示す図、

特許出願人代理人 飯田伸行

第2図は本装置の主要な部分を示すブロック図、

第3図は記録に利用できる曲目のカタログを示す図、

第4図はバンチカードを示す図、

第5図は個人用ビデオテープ・カートリッジを記録する装置を示す図である。

10, 42…テープカートリッジ

12…コンピュータ

13…読み取り装置

14…バンチカード

16…トランジットメモリ

17…論理演算ユニット

18…ワーキングメモリ

19…操作制御ユニット

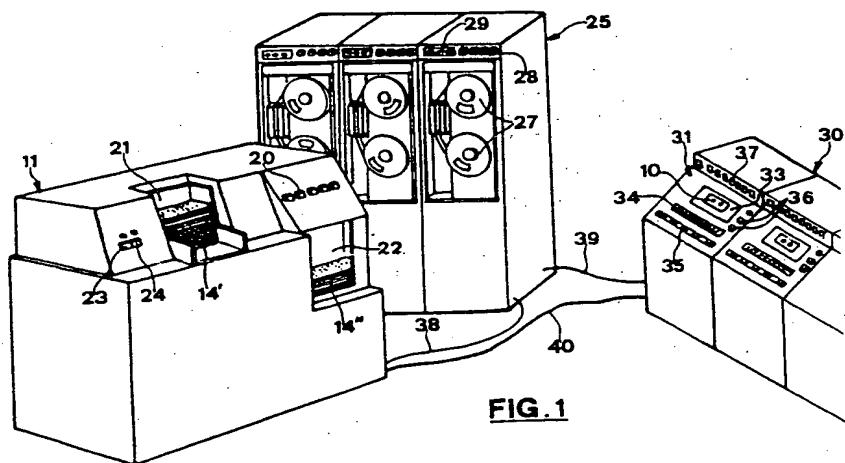


FIG. 1

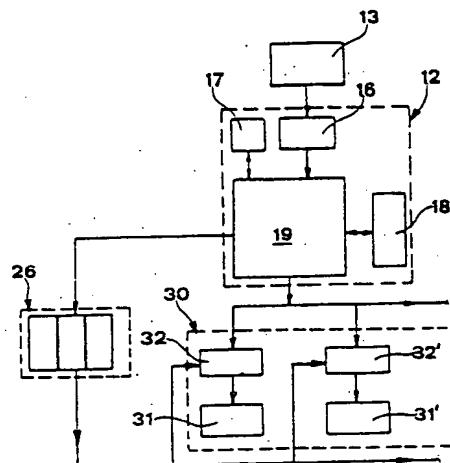


FIG.2

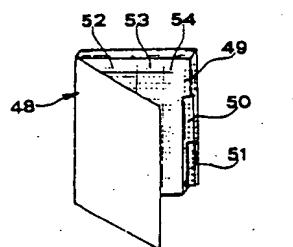


FIG.3

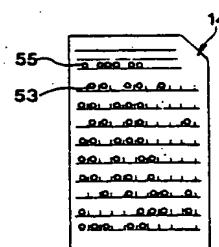


FIG.4

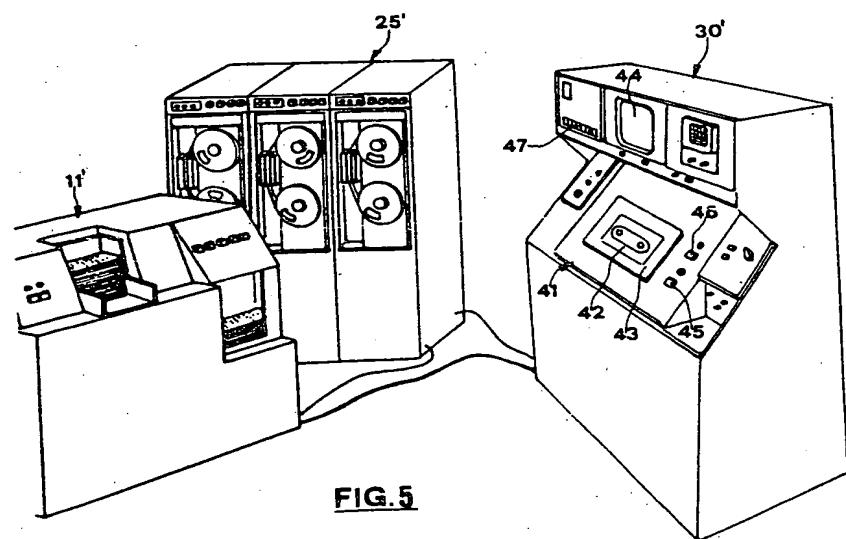


FIG.5